

三重県知事の台湾訪問（3月16日）の概要について

一見知事は、半導体などの産業連携の促進やインバウンド誘客を進めるため、台湾を訪問しました。3月15日（日）に台湾に到着し、3月16日（月）には、半導体産業セミナー・企業交流会の開催、企業訪問を行いました。また、観光誘客セミナーを開催し、県内観光事業者と台湾旅行会社との商談会を開催しました。

【3月16日（月）】

1 半導体産業セミナー・企業交流会

(1) 場 所 工業技術研究院（ITRI）中興院區（新竹県内）

(2) 出席者

(相手方) 台日半導体テクノロジー促進会 名誉理事長

(前 台湾経済部長（経済大臣）) 郭 智輝（かく ちき）

台湾日本関係協会 副秘書長 林 郁慧（りん いくけい）

工業技術研究院 副院長 胡 竹生（こ ちくせい）

台湾半導体関連企業 19社、3大学、3団体

(三重県) 知事 一見 勝之 ほか

(経済団) 三重県商工会議所連合会 会長 小川 謙 ほか 11団体・企業 14名

(3) 概 要

- ① 日台間の半導体産業の連携促進を目的に設立された「台日半導体テクノロジー促進会（臺日半導體科技促進會）」と連携して、工業技術研究院（ITRI）において、半導体産業セミナー・企業交流会を開催し、台湾の企業19社26名、3大学3名、3団体5名の計34名が参加しました。
- ② 共催の台日半導体テクノロジー促進会の名誉理事長かつ前・台湾経済部長の郭智輝氏から開会にあたり、「三重県は、世界水準の半導体製造環境に加えて、コア技術や製造装置の研究開発力、技術力を有する重要な地域である。本セミナーをきっかけに、それぞれの技術とニーズを共有し、さらなるサプライチェーンの発展に期待したい。」とあいさつされ、本県と台湾の半導体関連企業による連携促進に意欲を示されました。
- ③ 一見知事からは、「三重県の半導体関連企業が経済団として台湾を訪問したのは初めて。三重県は半導体産業の集積、豊富な水、安定した電力、開発が進む産業用地、人材の確保などの優れた投資環境のメリットがあり、今後も半導体産業に対して継続的に力を入れていく。今回をきっかけとして、三重県と台湾の交流が半導体産業を通じてますます盛んになることを期待する。」とあいさつを行うとともに、プレゼンテーションを行い、台湾の半導体関連企業による三重県での

投資や、継続的なビジネス交流の拡大に期待を示しました。

- ④ セミナー終了後はビジネスマッチングを目的として、三重県経済団の7企業と台湾の半導体関連企業5社が会社紹介のプレゼンテーションを行い、その後に交流会を行いました。交流会では、「三重県には優れた企業があることを発見できた。日本での投資においては、三重県を候補の1つとして検討したい。」などの意見がありました。



(集合写真)

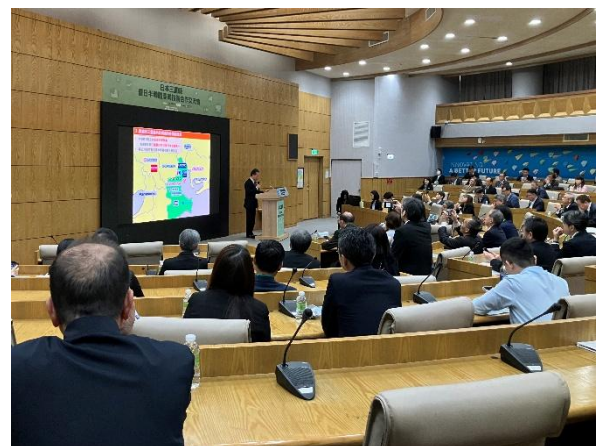
左から松下雇用経済部長、三重県商工会議所連合会小川会長、一見知事、郭名誉理事長、林副秘書長、胡副院長



(郭氏の挨拶の様子)



(知事のプレゼンの様子)



(会場の様子)

2 UMC訪問

(1) 場 所 UMC本社 (新竹市内)

(2) 出席者

(相手方) UMC副社長・USJC会長 莊 裕智 (デュアン・ユージー)

UMC副社長 郭 臨伍 (クオ・リンウー) ほか

(三重県) 知事 一見 勝之 ほか

(3) 概 要

- ① UMCのグループ企業であるユナイテッド・セミコンダクター・ジャパン株式会社（USJC）が桑名市に立地し、USJCが2026年に約58億円の投資を決定し、雇用を増やす計画があることから、2023年1月に訪台し、投資を依頼したことに対して、多額の投資を実施してもらったことへの御礼と三重工場におけるさらなる設備投資、県が進める半導体人材育成に向けた取組について引き続き協力を依頼しました。
- ② 一見知事からは「三重県は、工業系の人材を大学、高専、工業高校から毎年約2,400名輩出するなど人材が豊富。また、名古屋にも近く、社員の方の生活面でも働きやすい環境がある。」と三重県の立地環境の優位性をPRしました。
- ③ 荘副社長からは、「投資にあたっては人材確保が重要。USJCは中部地域で最強の半導体企業になることをめざしており、三重県と協力していきたい。」旨の発言がありました。



(記念撮影の様子)

左から荘副社長、一見知事、郭副社長



(知事の挨拶の様子)

3 観光誘客セミナー・台湾旅行会社との商談会

(1) 場 所 台北文創 (Taipei New Horizon) (台北市内) (複合商業施設・文化施設)

(2) 出席者

(相手方) 台湾旅行会社 (35社) 47名

メディア16名 インフルエンサー5名 食品関係バイヤー3人計71名

(来 賓) 公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所 代表 片山 和之

(三重県) 知事 一見 勝之 ほか

(観光団) 志摩市長 橋爪 政吉

観光団長 近鉄グループホールディングス(株) 伊勢志摩支社 山本支社長

ほか県内観光関連事業者計19団体27名

(3) 概 要

- ① 台湾から三重県内への誘客促進につなげることを目的に、台湾の旅行会社や現地メディアを対象に観光誘客セミナーを開催し、三重県の観光の魅力をPRしました。またセミナー終了後には、旅行商品の訪問先に三重県の観光施設や宿泊施設を入れていただくことを目的に、県内観光関連事業者と台湾現地旅行会社との商談会を実施しました。
- ② セミナーには来賓として公益財団法人日本台湾交流協会台北事務所の片山代表をむかえ、台湾の旅行会社やメディア・インフルエンサーなど総勢71名が参加しました。また、一見知事のほか橋爪志摩市長も参加し、伊勢志摩の観光の魅力をPRしました。
- ③ 一見知事はセミナー挨拶の中で、「伊勢神宮、海女、忍者などの三重県ならではの魅力がたくさんあるが、まだ台湾の方には知られていない隠れた宝物がたくさんある。このイベントを通じて、三重県の魅力を存分に知っていただき、台湾から多くの方にお越しいただきたい。」旨、発言しました。
- ④ セミナーでは、観光地の魅力とともに関西国際空港からのアクセスや周遊ルートなどを訴求しました。また忍者の発祥地として三重県をPRするため、伊賀忍者特殊軍団「阿修羅」による忍者実演も実施しました。
また、日本の地域産品を取り扱う台北のカフェ「根本在旅行（ネモトトラベル）」創業者兼バイヤーをゲストスピーカーにむかえ、三重県の訪問経験もふまえて、かぶせ茶のシェア日本一である伊勢茶をはじめとする食の魅力を伝えました。
- ⑤ 参加した旅行会社からは、「F1が開催される鈴鹿サーキットでの乗車体験や横山展望台からの絶景など、まだまだ知らない魅力が三重県にはたくさんあることがわかった。」「伊勢茶について団体旅行の受け入れ可能なコンテンツがあることをこのイベントを通じて初めて知ったので、茶畑の工場見学など実際に旅行商品に組み込むことを検討したい。」との発言があり、三重県へのさらなる送客強化に興味を示されました。
- ⑥ さらに、食のプロモーションとして、かぶせ茶のシェア日本一である伊勢茶や伊勢茶・温州みかんを使ったデザートのみるまいなどを実施し、参加者から「三重県がお茶の生産量が日本で全国第3位とは知らなかった。初めて伊勢茶を飲んだが、香りとはほどよい甘みが素晴らしい。」とコメントがありました。
- ⑦ また、カフェ「根本在旅行」信義店で開催中の三重県フェアを、志摩市長とともに視察し、提供している伊勢茶などの三重県産品を使ったデザートを試食しました。



(知事挨拶の様子)



(志摩市長プレゼンの様子)



(伊賀忍者特殊軍団「阿修羅」)



(記念撮影)

左からカフェ「根本在旅行(ネモトトラベル)」創業者兼バイヤー リョウコ チェーン氏、日本台湾交流協会台北事務所片山代表、一見知事、橋爪志摩市長、塩野観光部長



(伊勢茶をふるまう様子)

4 県内観光事業者と台湾旅行会社との夕食交流会

- (1) 場 所 祥福餐廳 (台北市内)
- (2) 出席者
 - (相手方) 台湾旅行会社 8 社 8 名
 - (三重県) 知事 一見 勝之 ほか 6 名
 - (観光団) 志摩市長 橋爪 政吉 ほか 15 者 22 名
- (3) 概 要

三重県内の観光事業者と台湾現地旅行会社とのネットワーキングを図り、三重県へのさらなる誘客促進につなげるため、夕食交流会を開催しました。

5 現地進出企業・三重県人会との交流会

(1) 場 所 シーザーパークホテル台北（台北市内）

(2) 出席者

(相手方) 現地進出企業等（台湾三重県人会） 9名

(三重県) 知事 一見 勝之 ほか10名

(経済団) 三重県商工会議所連合会 会長 小川 謙 ほか13名

(3) 概 要

- ① 三重県にゆかりの深い台湾駐在者等で構成される「台湾三重県人会」の方々との交流会を開催しました。
- ② 経済団の小川団長が乾杯の挨拶を行い、参加者は台湾でのビジネスや生活、三重県の思い出などについて意見交換等を行いました。
- ③ 一見知事から、「台湾に県人会が存在することはとても有意義であり、海外から三重県を応援してほしい。」旨の発言がありました。
- ④ 台湾三重県人会代表の馬岡氏が中締め挨拶を行い、交流会を終了しました。